

# 令和5年度西神吉小学校 学校評価

学校教育目標 「自ら学び続け、人や自然を大切にする心豊かな子の育成」  
 -自らを見つめ、共に支え合い、より良く伸びる西神吉っ子-

家庭や地域と連携・協力しながら、確かな学力、豊かな心、健やかな体という「知・徳・体」の調和のとれた「生きる力」を育み、人間性豊かな児童の育成に努めます。

そのために、児童が普段の学校生活や自然体験活動、社会体験活動を通して、自らを見つめ、共に生きる心を育もうとする態度を養うとともに、思考力・判断力・表現力の基礎を培います。

さらに、児童の主体的・協同的学習の充実を図りながら、ねばり強く最後までやりぬく実践「いのちと人権」を大切にする心情や態度を育てます。

重点指導項目	達成	成果と課題（自己評価）	改善の方策（自己評価）	関係者評価
① 確かな学力	B	○個に応じた指導で、基礎基本の定着を図った。 ○一人一人の学習の様子を教員間できめ細かく情報共有してチームでサポートした。 ▲子どもが主体的に学び、自ら課題解決する力を伸ばす。	・協同的探究学習による、児童一人一人が活躍する授業を行う。 ・話す・書くだけでなく、タブレット上の意見交流など、様々な表現方法で対話力をつける。	★タブレットの活用が盛んになり、SNS上のトラブルがよく話題に上っている。相手の気持ちを想像した上の表現方法も併せて指導してほしい。
② 豊かな心	B	○道徳の授業の充実に加え、いい所見つけなど、学級活動や特別活動で思いやりの心を育む取り組みができた。 ▲地域の方による体験活動が復活してきている一方、教科との関連やキャリア教育の視点からの取り組みが課題となっている。	・挨拶運動や異学年交流など、コミュニケーション能力、社会性を育む体験活動を充実させる。 ・地域との連携をキャリア教育とも関連付け、教科横断的に行う。	★挨拶をする子は元気な声でしているが、挨拶をしない子がいる。 ★タブレットは便利だが、人との交流を大切にしてほしい。
③ 健やかな体	A	○長縄集会やマラソン記録会などで楽しく継続して運動に取り組めるよう工夫した。 ▲ゲームやスマートフォンなどで生活リズムが崩れている児童がいる。	・体育的活動を継続して行い、体力・運動能力の増進を目指す。 ・ゲームやSNSの使い方について、家庭に向けての発信を行う。	★テレビやゲーム1時間以内の人が1/4。学校や家庭での教育が必要である。
④ 安全安心な学校	B	○ほとんどの児童は安全にマナーを守った生活が送れている。 ▲困ったときに相談しにくいと感じている児童がいる。 ▲相手の気持ちを想像し、自らの行動に責任がもてる子を育てることが課題である。	・直接話すことに抵抗がある場合でもタブレットを活用するなどいじめの早期発見・対応につなげる。 ・高学年が手本を見せるなど主体性を育む活動を工夫して、学校全体で安全教育に取り組む。	★いじめの早期発見、対応について、学校の取り組みを保護者に知らせる努力が必要。 ★子どもが困った時、気軽に相談できるように信頼関係づくりをしてほしい。
⑤ 開かれた学校	A	○周年記念事業で地域・家庭との連携ができた。 ○収穫体験や綿名人さんなど、地域の方と学習する教育活動を積極的に実施できた。 ▲ホームページでの情報発信を保護者に周知する必要がある。	・継続して地域のゲストティーチャーとの交流活動を工夫する。 ・ホームページやお便りなどを今年度に引き続き行う	★120周年記念式典のお陰で学校の様子がよくわかった。この機会を増やしてほしい。 ★ホームページや学校だよりをさらに活用して情報発信してほしい。